

農林水産・食品分野の公募情報（30年2月28日）

2月21日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「平成30年度戦略的プロジェクト研究推進事業」

<http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/180201.html>

分野等：

1. 現場ニーズ対応型研究
 - 1) 青果用かんしょの省力機械移植栽培体系の確立
 - 2) 茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成
 - 3) ドローンやほ場設置型気象データセンサー等センシング技術を活用した栽培管理効率化・安定生産技術の開発
 - 4) 総合的な悪臭低減、臭気拡散防止技術の開発
 - 5) 成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発
 - 6) クロマグロ養殖の人工種苗への転換促進のための早期採卵・人工種苗育成技術や低環境負荷養殖技術の開発
 - 7) 有害化学物質・微生物の動態解明によるリスク管理技術の開発
 - 8) 家畜の伝染病の国内侵入と野生動物由来リスクの管理技術の開発
 - 9) 国際連携による農業分野における温室効果ガス削減技術の開発
 - 10) ドローン等を活用した農地・作物情報の広域収集・可視化及び利活用技術の開発
2. 基礎的・先導的研究
 - 11) AIを活用した食品における効率的な生産流通に向けた研究開発
 - 12) 民間事業者等の種苗開発を支える「スマート育種システム」の開発
 - 13) 海外植物遺伝資源の民間等への提供促進

公募期間：30年2月1日～3月22日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「平成30年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業のうち現地実証研究委託事業」

http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gi_jyutu/H30koubo.htm

分野等：

1. 栽培中断園地における果樹の早期復旧に向けた実証研究
2. 原発事故からの復興のための放射性物質対策に関する実証研究
3. 自給飼料を導入した大規模水田輪作による耕畜連携システムの実証研究
4. 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究
5. 花きの計画生産・出荷管理システムの実証研究
6. 操業の効率化、資源管理、流通の体系化に関する実証研究
7. 水産物の高付加価値化のための水産加工業に関する実証研究
8. 福島県内水面漁業の復活に向けた種苗生産・供給技術に関する実証研究
9. 異常発生したウニの効率的駆除及び有効利用に関する実証研究

公募期間：30年2月9日～3月9日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「平成30年度放射性物質測定調査委託事業」

http://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/180223_1.html

分野等：福島県及びその周辺における農畜産物及び土壌の放射能汚染レベルの動向把握

公募期間：30年2月23日～4月6日

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「平成30年度放射能調査研究委託事業のうち『農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明』」

http://www.maff.go.jp/j/supply/itaku/kenkyu_kaihatu/180223_2.html

分野等：農林生産環境中における放射性核種の濃度変動の要因と動態の解明

公募期間：30年2月23日～4月6日

- ・農林水産省（消費・安全局）：「平成30年度安全な農林水産物安定供給のためのレギュラトリーサイエンス研究委託事業」

http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gi_jyutu/180202.html

分野等：

1. 食品安全に関する課題

- ・食品中のメチルフラン類縁体の分析法の開発
- ・燻製に使用する木材の水分含量等が食品中の多環芳香族炭化水素類濃度に及ぼす影響の検証
- ・海水中のノロウイルス指標微生物の分析法の開発

2. 動物衛生に関する課題

- ・ヨーネ病の感度・特異度の高い遺伝子検査手法の確立
- ・新たな輸入畜産物の消毒薬剤及び消毒方法の開発

公募期間：30年2月2日～3月9日

- ・農林水産省（農村振興局）：「平成30年度官民連携新技術研究開発事業」

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/180126_1.html

分野等：

1. 農地の大区画化・汎用化に資する技術
2. 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術
3. 土地改良施設の耐震強化等に資する技術
4. 小水力発電等の農業水利施設等を活用した再生可能エネルギーの導入促進に資する技術
5. 農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術

公募期間：30年1月26日～3月30日

- ・農林水産省（政策統括官）：「平成30年度産地活性化総合対策事業のうち戦略作物生産拡大支援事業（米粉製造革新技術等開発支援事業）」

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisaku_tokatu/180221_1.html

分野等：

1. 米粉・小麦粉のミックス粉等の新たな米粉製品の開発
2. 米粉用米の生産・利用体制確立
3. 米粉製造に係る機器等の導入

公募期間：30年2月21日～3月12日

- ・林野庁：「木材需要の創出・輸出力強化対策（「地域内エコシステム」構築事業（木材のマテリアル利用技術開発事業）」

http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/30koubo_1/30mhk0128.html

分野等：

1. 新素材製造・利用技術開発
2. 改質リグニンの実用化に向けた事業性評価
3. 竹のマテリアル利用に向けた効率的な竹材生産技術の開発

公募期間：30年2月2日～3月1日

- ・水産庁：「平成30年度二枚貝資源緊急増殖対策委託事業」

http://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/180213_nimaigai.html

分野等：タイラギ等の天然採苗が難しい二枚貝類の人工種苗生産技術の開発を行い、二枚貝資源を増大させる手法を確立する。

公募期間：30年2月13日～3月1日

- ・水産庁：「平成30年度栽培漁業総合推進委託事業（新たな栽培対象種の技術開発促進）」

http://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/180213_saibai.html

分野等：消費者のニーズが高く、漁業者からの種苗生産に対する要望が強い魚種について、大量種苗生産・放流技術の開発を促進させ、資源造成を図る。

公募期間：30年2月13日～3月1日

- ・環境省：「平成30年度セルロースナノファイバー活用製品の性能評価事業委託業務」

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/30_a37/index.html

分野等：セルロースナノファイバー（CNF）活用材料で部品等を試作し、実機に搭載することで製品としての信頼性、CO2削減効果等の性能評価を実施するとともに、早期社会実装に向けた導入実証を行う。

公募期間：30年2月1日～3月1日

- ・文部科学省：「平成30年度宇宙航空科学技術推進委託費」

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208.htm

分野等：宇宙利用技術創出プログラム（衛星から得られたデータ等の宇宙科学技術を活用し、異分野シーズとの融合による新たな宇宙利用技術に関する研究開発を行うことにより、環境、農業・漁業、防災、スポーツ、地理空間等の様々な分野における実用化につながる、新たな価値を提供する技術の創出を目指す）等。

公募期間：30年2月16日～4月16日

- JST：「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） ステージⅢ：NexTEP-Aタイプ」
<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29nextep-a-1.html>
分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。
公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）
- JST：「産学共同実用化開発事業NexTEP 平成29年度未来創造ベンチャータイプ」
http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html
分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。
公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）
- JST：「産学共同実用化開発事業NexTEP 平成29年度一般タイプ」
http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html
分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。
公募期間：29年3月31日～30年3月30日（第3回締切）
- JST：「平成30年度 大学発新産業創出プログラム（START） プロジェクト支援型」
<http://www.jst.go.jp/start/boshu/h30/index.html>
分野等：大学等にて、事業プロモーターのマネジメントのもと、市場や出口を見据えて事業化をめざした研究開発プロジェクトをJSTが支援する。
公募期間：30年1月16日～3月14日（第1次申請（平成30年度第1サイクル））
- NEDO：「平成30年度エネルギー・環境新技術先導プログラム」
http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100161.html
分野等：
 1. エネルギー変換・貯蔵システム領域
 2. 革新生産プロセス領域
 3. 次世代革新材料領域
 4. 先進機械システム・電源システム領域
 5. 熱利用・プロセスシミュレーション・計測機器領域公募期間：30年2月2日～3月5日
- NEDO：「平成30年度戦略的省エネルギー技術革新プログラム」
http://www.nedo.go.jp/koubo/DA2_100222.html
分野等：現行の「省エネルギー技術戦略」に掲げる「重要技術」を中心に、高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を対象として助成する。
公募期間：30年2月5日～3月13日
- NEDO：「平成30年度国際研究開発/コファンド事業/日本—フランス研究開発協力事業」
http://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100127.html
分野等：NEDOは、平成22年9月フランス公的投資銀行（Bpifrance：旧 OCEO）と、日仏企業のイノベーション促進のため協力することに合意し、覚書（MOU）を締結した。本事業では、覚書に基づき、両国の企業等の技術開発、イノベーションにおいて、戦略的重要性のある分野で日仏企業間の連携が促進されることを目指しており、今般、Bpifrance と同時期に、日仏の企業等による研究開発協力事業の公募を行う。対象技術分野は、新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット・AI、IoT、材料・ナノテクノロジー等。
公募期間：30年2月7日～3月30日
- NEDO：「平成30年度国際研究開発/コファンド事業/日本—ドイツ研究開発協力事業」
http://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100126.html
分野等：NEDOは、平成29年3月に、経済産業省とともにドイツ連邦経済エネルギー省（BMWi）と、日独両国の共同研究開発プロジェクトが、両国の産業競争力強化および国際化促進にとって重要であるとの認識のもと、両国が「コファンド形式」にて、企業間の国際研究開発を支援していくことに合意し、共同声明に調印した。NEDOは、本共同声明に基づき、「インダストリー4.0」や「IoT（Internet of Things）」の概念を打ち出して世界をリードして

いるドイツと、日独の企業等による「国際研究開発／コファンド事業」の公募を行う。対象技術分野は、新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット・AI、IoT、材料・ナノテクノロジー等。
公募期間：30年2月7日～3月30日

・NEDO：「平成30年度国際研究開発／コファンド事業／日本－イスラエル研究開発協力事業」

http://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100122.html

分野等：NEDOは、平成26年7月、イスラエル産業技術研究開発センター（MATIMOP）との間で基本協定書（MOU）を締結し、両国の産業技術分野における研究開発を促進することに合意した。本事業では基本協定書に基づき、両国企業の共同研究開発を支援する。対象技術分野は、新エネルギー、省エネルギー、スマートコミュニティ、環境、ロボット・AI、IoT、材料・ナノテクノロジー等。

公募期間：30年2月7日～4月23日

・NEDO：「海洋エネルギー発電実証等研究開発事業」

http://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100211.html

分野等：早期実用化を目指すことが可能な海洋エネルギーデバイスを実海域に設置し、1年間以上の長期実証研究を実施する。実海域の長期実証研究においては、各海洋エネルギーデバイスの特徴を踏まえ、導入用途等を明確にした上で、様々な季節・気候条件下での発電性能や信頼性の向上及び生物付着・環境影響並びに運用に関する課題等の検証を行う。長期実証研究に先立ち、フィージビリティ・スタディ（FS）として、想定海域における長期試験に伴う環境変化の調査、系統接続を行うための調査、長期実証試験の実施に必要な実証機の整備及び性能試験を実施する。

公募期間：30年2月9日～3月15日

・総務省：「平成29年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000206.html

分野等：

情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- ① いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- ② G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- ③ 以心伝心ICTサービス基盤
- ④ フレンドリーICTサービス技術
- ⑤ 社会インフラ維持管理サービス技術
- ⑥ レジリエント向上ICTサービス技術
- ⑦ 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトに該当する課題をはじめ、幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題。

公募期間：29年4月4日～30年3月30日

■民間等

・一般財団法人杉山報公会：「平成30年度研究助成金」

<http://www.sugiyama-houkoukai.or.jp/joseib.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：29年9月1日～30年3月末日

・公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成30年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：30年1月15日～3月10日

・公益財団法人 荏原 昌山記念文化財団：「平成30年度研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス 等

公募期間：30年1月10日～3月6日

- ・一般財団法人東和食品研究振興会：「2018年度学術奨励金」

<http://www.towashokuhin.or.jp/academic/index.html>

分野等：

1. 食品の加工・保蔵に関する研究
2. 食品の安全性に関する研究
3. 食品の機能性に関する研究
4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
6. その他食品科学に関する研究

公募期間：29年12月26日～30年3月31日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2018年度生命科学研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/life.html>

分野等：生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究

公募期間：30年1月9日～4月4日

- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2018年度 ライフサイエンス研究助成」

<http://www.takeda-sci.or.jp/assist/lifescience.html>

分野等：生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究

公募期間：30年1月9日～4月4日

- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「平成30年度研究助成」

<http://www.krf.or.jp/research>

分野等：エネルギー・リサイクル分野 等

公募期間：30年1月5日～8月31日

- ・特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 平成30年度募集」

<http://www.yeast.umin.jp/h30jigami-fund.html>

分野等：酵母、糖鎖に関する研究

公募期間：30年1月4日～3月30日

- ・公益財団法人日本生命財団：「2018年度 ニッセイ財団環境問題研究助成」

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02.html>

分野等：人間活動と環境保全との調和に関する研究

公募期間：30年2月1日～4月2日

- ・一般財団法人水源地環境センター：「平成30年度 WEC 応用生態研究助成」

<http://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

分野等：ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究

公募期間：30年2月19日～4月5日

- ・公益財団法人戸部眞紀財団：「平成30年度研究助成金」

<http://www.tobe-maki.or.jp/grant/>

分野等：化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学

公募期間：30年2月7日～4月20日

- ・公益財団法人ひと・健康・未来研究財団：「2018年度研究助成」

<http://www.jnhf.or.jp/jose/g-01/>

分野等：当財団の目的である「ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康をめざした研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する」ことをめざす研究（分野は食品、環境、医学、福祉）

公募期間：30年4月1日～30日

【研究開発関連以外】

■省庁等

- ・農林水産省（生産局）：「平成 30 年度産地活性化総合対策事業のうち生産体制・技術確立支援事業(新品種・新技術の確立支援事業)」

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/180215_1.html

分野等：

1. 新品種・新技術等の特性把握
2. 産地・実需者等が連携して行う実証等を通じた生産技術の確立
3. 新品種・新技術の普及等に関する手引きの作成

公募期間：30 年 2 月 15 日～3 月 6 日

- ・JST：「SATREPS プロジェクト成果を活用した SDGs ビジネス化支援プログラム」

<http://www.jst.go.jp/global/>

分野等：地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）で得られた成果を民間企業のビジネスに取り込みながら、プロジェクトの成果をより多く社会実装化してビジネスにつなげることにより、持続可能な開発目標（SDGs）達成を目指す新たな試みを行う。プロジェクト成果に関心を示し、それを活用したビジネスの実現を目指す企業を公募し、外部専門家の支援を受けながら、企業と SATREPS 研究者が共同でビジネスモデル化を図ることを支援する。

公募期間：30 年 1 月 10 日～3 月 2 日

- ・独立行政法人日本学術振興会：「平成 30 年度世界トップレベル研究拠点プログラム」

<http://www.jsps.go.jp/j-toplevel/index.html>

分野等：高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点の形成を目指す構想に対して政府が集中的な支援を行うことにより、システム改革の導入等の自主的な取り組みを促し、世界から第一線の研究者が集まる、優れた研究環境と高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目指している。

公募期間：30 年 2 月 5 日～4 月 3 日

- ・全国中小企業団体中央会：「平成 30 年度中小企業活路開拓調査・実現化事業」

<http://www.chuokai.or.jp/hotinfo/30katsuro-project.html>

分野等：環境変化等に対応するため、単独では解決困難な諸テーマ（新たな活路開拓・付加価値の創造、既存事業分野の活力向上・新陳代謝、取引力の強化、情報化の促進、技術・技能の継承、海外展開戦略、各種リスク対策等）について、中小企業連携グループが改善・解決を目指すプロジェクトを支援する。

公募期間：30 年 2 月 13 日～4 月 9 日（第 2 次募集）、4 月 10 日～6 月 4 日（第 3 次募集）